第３章

まちづくりの目標と将来構造

３－１　まちづくりの目標と将来の姿
３－２　まちの将来構造

3-1 まちづくりの目標と将来の姿

（1） まちづくりの目標

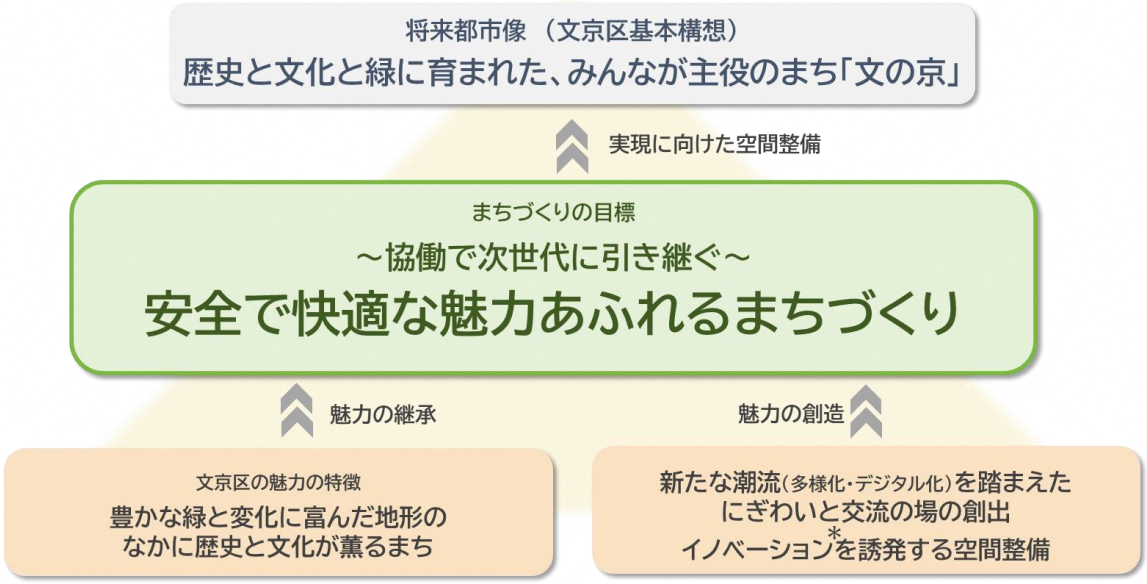
文京区は、住む人、働く人、学ぶ人など多様な人が訪れる場所であり、それぞれにとって価値あるまちであるために、安全で快適であるとともに、文京区ならではの魅力を持ち続け、新しい魅力の創造を図っていくことが重要です。

さらに、社会経済情勢の変化や価値観の多様化に伴い、まちもその影響を大きく受ける状況のなかで、文京区の特徴を生かし、先端技術や自然が有する力を活用しながら、いろいろな課題を解決していかなければなりません。

また、そのためには、様々な人々が知恵を出し協力し合いながら、共通の目標に向かって、まちづくりに取り組んでいくことが重要です。

これらを踏まえ、「まちづくりの目標」 を次のように設定します。

■まちづくりの目標



目標に掲げるキーワードの考え方

協働	#「文の京」自治基本条例
次世代に引き継ぐ	#SDGs*
安全	#大規模災害への対応（横断的視点③）
快適	#人口構造変化への対応（横断的視点①） #脱炭素社会*への対応（横断的視点②）
魅力あふれる	#魅力の継承と創造（基本的な視点）

（2） 将来の姿

「まちづくりの目標」の実現に向けて、文京区が目指すまちの「将来の姿」を以下の通り設定します。

① 文京区の魅力の要素や特徴が生かされたまち

(1) 文京区のイメージを象徴する庭園や寺社、大学など魅力となる資源が生かされた、歴史と文化の薫り高いまち

(2) 文京区の特徴である豊かな緑に囲まれた、環境に優れたまち

(3) 起伏に富んだ地形が誘起する風景や、界隈ごとに展開する個性ある風景と、緑が美しく調和した、優れた景観のあるまち

(4) 多様な主体の交流による、イノベーション*を生み出すまち

② 安心して暮らせる安全なまち

(1) ユニバーサルデザイン*に配慮した都市施設や建築物が整備され、誰もが安心して生き生きと住み続けられるまち

(2) 魅力を生かしながら防犯性と防災性を兼ね備えた安全なまち

③ 快適で活力のある持続可能なまち

(1) 住む場所と働く場所と学ぶ場所が調和し、誰にとっても便利で快適なまち

(2) 拠点を中心に憩い、にぎわい、国内外から多くの人が訪れ、交流が広がる活力あるまち

(3) 脱炭素を実現し、自然環境が有する多様な機能が生かされた持続可能なまち

④ 区民等と区が協働する心が通う豊かなまち

(1) 区民等が自分たちのまちをより良いものにしていこうという積極的な意識をもち、区民等と区が協働するまち

(2) 文京区に関わるすべての人が、地域社会を構成する一員として互いに支え合う、心が通う豊かなまち

3-2 まちの将来構造

（1） 将来都市構造

第１章「文京区の概況と取り巻く状況」、第２章「魅力にあふれるまちをめざして」等を踏まえ、ゾーンや都市拠点等を以下の通り設定します。

都市交流ゾーン

多様な高次都市機能施設が集積し、国内外から多くの人が集まる地域を都市交流ゾーンに位置づけます。各施設の機能向上と施設間の連携強化、住む人・働く人・学ぶ人・訪れる人の交流を図ることで、イノベーション*を生み東京の活力を牽引するとともに、区民の成熟した暮らしを生む地域を形成します。

小石川 都市交流ゾーン （春日駅・ 後楽園駅周辺 水道橋駅周辺 飯田橋駅周辺）	東京ドームシティ、文京シビックセンター、中央大学、その他スポーツ・文化施設、大規模オフィスビルや広域商業施設等の高次都市機能施設や乗換駅が高密度に集積しています。また、文化財であり、大規模なみどりでもある小石川後楽園を含んだ都市計画公園が広い面積を占める地域です。 文化・スポーツ・娯楽・行政・教育などの機能の維持・向上を図るとともに、交通利便性の高さを生かした業務地、東京ドームシティや駅とのつながりを生かした商業地の形成を誘導します。 小石川後楽園のみどりと、東京ドームシティのにぎわいを生かした公共空間を形成し、各施設を結ぶことにより、多様な施設の連携と、国内外から訪れる人や区民の交流を創出します。
本郷 都市交流ゾーン （御茶ノ水駅周辺 本郷三丁目駅周辺 東京大学周辺）	複数の大学・大学病院が集積し、医療関連企業や近年では大学発ベンチャー企業など特色ある業務機能が集積しています。また、多くの面積を占める東京大学や、神田川沿いにみどりのまとまりがある地域です。 みどりある空間の維持と両立した、大学や病院の機能向上とともに、それらと結びついたスタートアップ*企業や先端産業等が集積した業務地、通う人や住む人にとって魅力ある商業地の形成を誘導します。 地域に開かれた大学や病院と、道路及び沿道の整備・活用との連携により、居心地が良く歩きたくなる空間のネットワークを形成することで、大学・病院と地域の結びつきを高め、国内外から訪れる人や区民の回遊や交流を創出します。

下町交流ゾーン

下町風情のある景観や、個性的な小規模店舗の集積などにより、落ち着きのある居住空間であるとともに、観光客が集まる根津・千駄木地域を、下町交流ゾーンに位置づけます。地域の防災性の向上を誘導しながら、住宅地と調和のとれた東京を代表する観光地を形成します。

低層住宅ゾーン

歴史ある山の手の戸建住宅を中心とする住宅地が形成されている地域を、低層住宅ゾーンに位置づけます。ゆとりある宅地や豊かなみどり、安全で閑静な住宅地を継承しながら、先進的な環境・防災性を持つ、東京を代表する良質な住環境を創出し、文京区のブランド力を牽引します。

都市拠点

都市機能が集積し、鉄道乗車人員が多い駅周辺を都市拠点として位置づけます。
土地の高度利用・有効利用による、商業・業務機能や地域特性に応じた都市機能の集積、にぎわいや交流を生む空間の創出、駅とまちとのつながりを高める施設の整備を誘導します。

都市核

文京シビックセンター・東京ドームシティ・春日駅・後楽園駅周辺を都市核に位置づけます。
高次都市機能施設がコンパクトに集積し、区内各地からの地下鉄やバスの交通利便性が高い、文京区の中心的な役割を担う地区を形成します。

主要交通ネットワーク

鉄道・鉄道駅及び幹線道路を主要交通ネットワークに位置づけます。
鉄道は文京区にとって区内外を結ぶ最も重要な交通ネットワークとしての機能を果たすとともに、駅を中心とした各交通機関の交通結節点を形成します。
幹線道路は、広域交通ネットワーク及び区内を結ぶ主要な交通ネットワークとしての機能を果たすとともに、沿道の土地利用に応じた交流機能を形成します。

都市軸

幹線道路沿道のうち、広幅員の幹線道路に面し、都市機能上重要な沿道を都市軸に位置づけます。
最寄りの住民等の生活利便機能や、道路と一体となった骨格的な景観・防災機能を形成します。
また、駅周辺を中心として、土地の高度利用・有効利用を図り、都市拠点に準じた都市機能の集積と交流空間の創出等を誘導します。

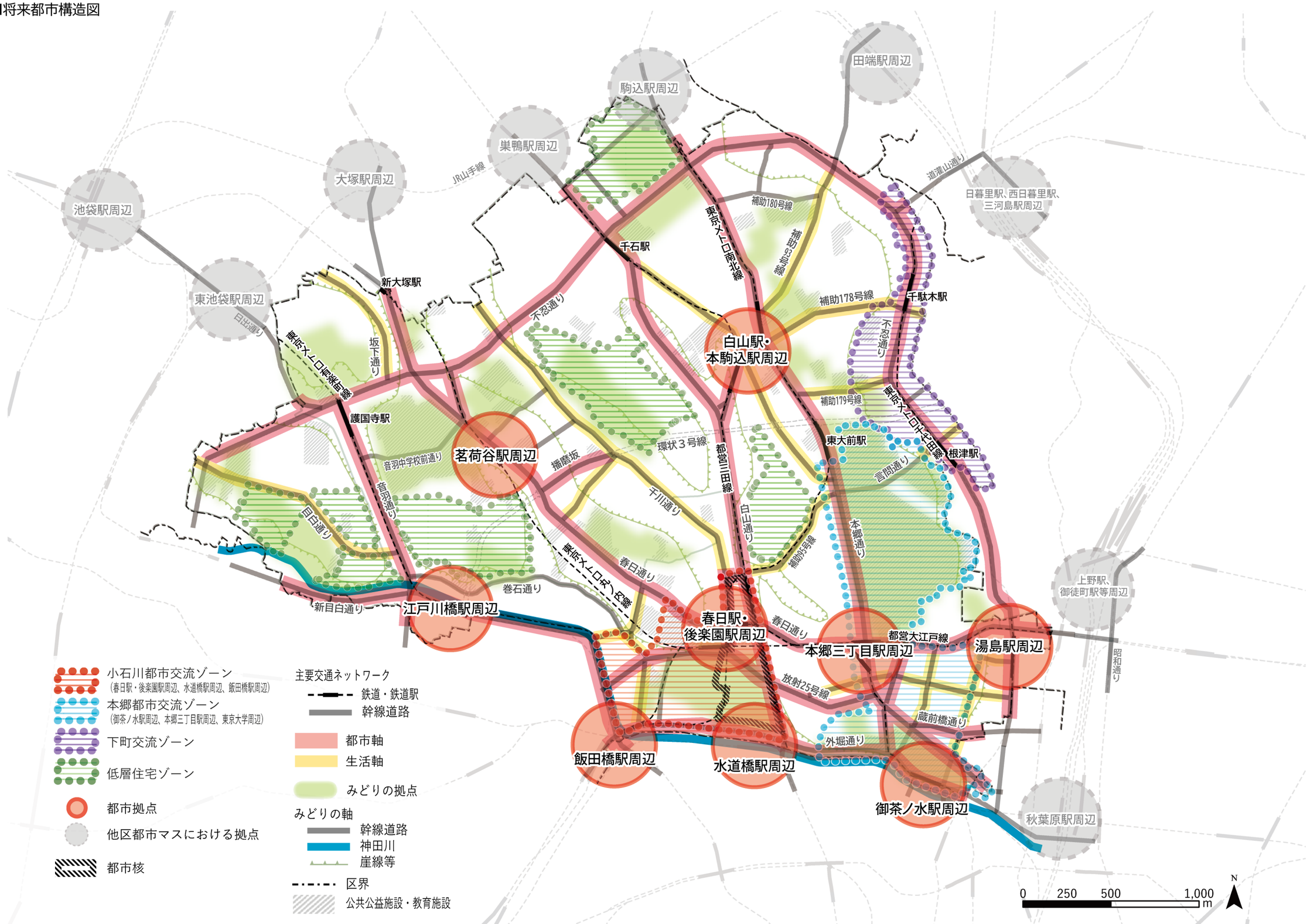
生活軸

都市軸以外の幹線道路沿道のうち、生活の利便性上重要な沿道を生活軸に位置づけます。
最寄りの住民等の生活利便機能や、道路と一体となった骨格的な景観・防災機能を形成します。

みどりの拠点及びみどりの軸（幹線道路・神田川・崖線*等）

大規模な公園・庭園、寺社、公共・公益・教育施設などの面的な緑をみどりの拠点に、幹線道路、神田川、崖線*等の線的な緑をみどりの軸に位置づけます。みどりの量的な底上げと質の向上を図り、良好な景観、気候変動への対応、防災、生物多様性*の確保、ウェルビーイング*の向上など、多様な機能を有するグリーンインフラ*として、みどりのネットワークの骨格を形成します。

■将来都市構造図


駒込駅周辺
田端駅周辺
巣鴨駅周辺
大塚駅周辺
池袋駅周辺
東池袋駅周辺
日暮里駅、西日暮里駅、三河島駅周辺
JR山手線
道灌山通り
補助180号線
補助85号線
東京メトロ南北線
千石駅
新大塚駅
不忍通り
補助178号線
千駄木駅
白山駅・本駒込駅周辺
日出通り
東京メトロ丸ノ内線
坂下通り
補助179号線
東京メトロ千代田線
根津駅
護国寺駅
茗荷谷駅周辺
音羽中学校前通り
播磨坂
環状3号線
都営三田線
東大前駅
言問通り
音羽通り
目白通り
千川通り
白山通り
本郷通り
補助85号線
春日通り
巻石通り
新目白通り
江戸川橋駅周辺
東京メトロ有楽町線
春日駅・後楽園駅周辺
本郷三丁目駅周辺
都営大江戸線
湯島駅周辺
上野駅、御徒町駅等周辺
昭和通り
放射25号線
蔵前橋通り
外堀通り
飯田橋駅周辺
水道橋駅周辺
御茶ノ水駅周辺
秋葉原駅周辺
小石川都市交流ゾーン
（春日駅・後楽園駅周辺、水道橋駅周辺、飯田橋駅周辺）
本郷都市交流ゾーン
（御茶ノ水駅周辺、本郷三丁目駅周辺、東京大学周辺）
下町交流ゾーン
低層住宅ゾーン
都市拠点
他区都市マスにおける拠点
都市核
主要交通ネットワーク
鉄道・鉄道駅
幹線道路
都市軸
生活軸
みどりの拠点
みどりの軸
幹線道路
神田川
崖線等
区界
公共公益施設・教育施設
0
250
500
1,000
m
N

（2） 誘導に向けた方向性

将来都市構造に向けた方向性を以下にようにまとめます。

① 都市交流ゾーン

【小石川都市交流ゾーン】

- ○ 高次都市機能施設が有する機能の保全・向上を図ります。
- ○ 駅周辺への大規模オフィスの集積を誘導します。
- ○ 広場、道路に面する建築物の低層部分へ、開放性の高い店舗等を誘導します。
- ○ 駅との結びつきを高めるデッキ、広場、道路、バリアフリー*設備などの整備を図ります。
- ○ 都市計画公園や道路と一体となった公開空地*の整備を図ります。
- ○ 区民と訪れる人双方のニーズに沿った都市計画公園整備を誘導します。
- ○ 都市計画公園及び隣接地の緑化を図ります。
- ○ エリアマネジメント*等による公共空間の活用を図ります。

【本郷都市交流ゾーン】

- ○ 大学や病院の機能の維持・向上を図ります。
- ○ 大学や病院内のみどりの保全・増加や、空地の整備・公開等を誘導します。
- ○ 土地の高度利用・有効利用による大規模オフィスの集積等、全域へ業務機能を誘導します。
- ○ 駅周辺や幹線道路沿道、既存の商店街の道路に面した建築物の低層部分に商業機能を誘導します。
- ○ 道路に面した公開空地*の創出を図ります。
- ○ 大規模敷地のみどりの保全・向上、道路に面する目に見えるみどりの創出や、みどりを楽しめる空間や施設を誘導します。
- ○ 大学・病院敷地、道路、公開空地*や沿道の店舗等が連携した歩行空間の整備・活用により、居心地が良く歩きたくなる空間のネットワークの形成を図ります。
- ○ エリアマネジメント*等による公共空間の活用を図ります。

② 下町交流ゾーン

- ○ 戸建住宅と小規模店舗が混在する土地利用の維持を図ります。
- ○ 個別建築物の防災性の強化と、景観の維持を両立する改修・建替えを誘導します。
- ○ 植栽等による道路沿いの緑化を誘導します。
- ○ 建替えに伴う細街路*拡幅整備を図ります。
- ○ 住む人や訪れる人の交流空間として、道路の整備や活用を図ります。
- ○ 幹線道路沿道は耐震・不燃性能の高い建築物を誘導し、延焼遮断帯*を形成するとともに、商業機能の集積を図ります。

③　低層住宅ゾーン

- ○　戸建住宅を中心とした土地利用の維持を図ります。
- ○　ゆとりある敷地規模やみどりの維持を図ります。
- ○　住宅ストック*の適切な管理・更新と、建替えに伴う細街路*拡幅整備を図ります。
- ○　ＺＥＨ*やＬＣＣＭ住宅*など、環境性能の高い戸建住宅を誘導します。
- ○　レジリエンス*性能が高く、インフラの供給が止まっても在宅避難ができる戸建住宅を誘導します。

④　都市拠点

- ○　乗車人員や駅とのつながりに応じた土地の高度利用・有効活用を誘導します。
- ○　広域商業機能や、駅利用者にとって利便性の高い商業機能を誘導します。
- ○　地域の個性や可能性に応じ、業務機能やその他都市機能を誘導します。
- ○　駅とのつながりを強化する広場や建築物、バリアフリー*施設の整備を誘導します。
- ○　道路と一体となった公開空地*の整備や活用を誘導します。
- ○　自転車駐車場の整備を図ります。

⑤　都市核

- ○　行政・文化・芸術・広域商業・スポーツ・レクリエーション施設などの都市機能を保全・向上させるとともに、各機能の連携を図ります。
- ○　地下鉄、バス、その他交通機関との交通結節機能*の強化を図ります。

⑥　主要交通ネットワーク

【鉄道・鉄道駅】

- ○　駅とまちが一体となった、利便性やバリアフリー*性向上のための整備を図ります。
- ○　他の公共交通機関や、自転車シェアリング*事業に加え、マイクロモビリティ*の利用により交通結節機能*の強化を図ります。

【幹線道路】

- ○　広域交通や鉄道を補完するバス路線の機能確保のための拡幅等の整備を進めます。
- ○　主に区内を移動する自転車等の通行空間の整備を進めます。
- ○　沿道の土地利用の状況に応じた道路空間の活用を行い、沿道と一体となった快適な空間を形成します。
- ○　環状３号線は都市計画道路であり、地形や現在の土地利用を考慮するとともに、必要とされる道路機能を発揮する整備形態の検討が必要です。

⑦　都市軸・生活軸

- ○　建築物低層部の用途には、最寄りの住民の生活を支える生活利便施設を中心に、沿道の特性に応じて訪れる人の利便性やにぎわいを支える機能を誘導します。
- ○　耐震・不燃性能の高い建築物を誘導し、道路と一体となって延焼遮断帯*を形成します。
- ○　歩きたくなるまちを形成するため、道路に対して開かれた建築物低層部や外構を誘導するとともに、利便性向上や移動の活性化のため、自転車駐車機能等を誘導します。
- ○　駅周辺では、土地の高度利用・有効利用を図り、都市拠点に準じた業務・商業機能の集積や交流空間の創出等を誘導します。

⑧　みどりの拠点及びみどりの軸

【みどりの拠点】

- ○　公園においては、みどりが有する多様な機能を生かしながら、今あるみどりを保全するとともに、再整備によりみどりの質の向上を図ります。
- ○　庭園においては、歴史・文化を適切に継承するためにみどりを保全します。
- ○　寺社、公共・公益・教育施設等においては、既存のみどりの維持・増加を誘導するとともに、それぞれの特性に応じて可能な範囲での公開を図ります。
- ○　みどりの拠点の隣接地においては、連携した緑化や広場の創出、みどりを楽しめる空間や施設を誘導します。

【みどりの軸（幹線道路・神田川・崖線*等）】

- ○　幹線道路整備にあわせた、連続した街路樹の整備を行います。
- ○　幹線道路沿道の緑化を誘導します。
- ○　神田川隣接地の緑化や、水辺を眺めて楽しめる施設を誘導します。
- ○　神田川沿いの樹林地や桜並木は、安全性を確保して保全に努めます。
- ○　崖線*等においては、土砂災害対策が図られた緑化を誘導します。